



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

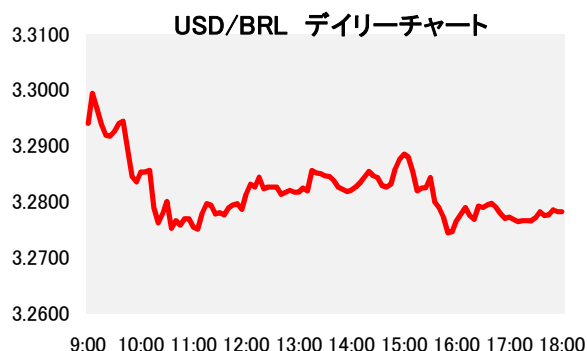
## 1. マーケット・レート

			5月31日	6月1日	6月2日	6月5日	6月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2270	3.2500	3.2460	3.2970	3.2780	-0.0190
	BRL/JPY	Spot	34.32	34.26	34.00	33.51	33.37	-0.14
	EUR/USD	Spot	1.1247	1.1215	1.1279	1.1256	1.1277	+0.0021
	USD/JPY	Spot	110.75	111.36	110.40	110.47	109.39	-1.08
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.363	9.456	9.478	9.486	9.377	-0.110
	Future	1Year(p.a.)	9.179	9.313	9.361	9.373	9.197	-0.176
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.910	1.967	2.015	2.107	2.132	+0.025
	USD	1Year(p.a.)	2.195	2.211	2.258	2.315	2.321	+0.006
株式	Bovespa指数		62711	62289	62511	62450	62955	504
CDS	CDS Brazil 5y		236.06	237.07	237.18	237.97	237.41	-0.56
商品	CRB指数		179.772	179.090	177.963	177.296	178.077	+0.78

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

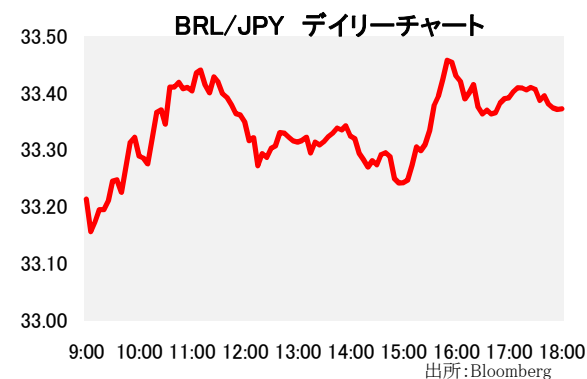
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数(伯自工会)	--	237060	191069
自動車販売台数(伯自工会)	--	195562	156894
自動車輸出(伯自工会)	--	73426	58753
JOLT求人(米)	5750	6044	5743



## 3. 要人コメント

マイア伯下院議長	年金改革法案採決の日程は今週末まで決定を待つ
----------	------------------------



## 4. トピックス

- 本日のリアルは3.2980で寄り付いた。直後に安値3.3010をつけたが、昨日引け後に発表された伯仲銀によるドル売りポジションのロールオーバー再開を好感してリアルは上昇し、午前中に日中高値3.2730をつけた。午後に入って売り戻しの動きから3.28台後半へ下げる場面もあったが、取引終盤にかけて再び3.27台を回復。結局3.2780でクローズした。
- 伯仲銀はドル売りスワップポジションのロールオーバーを再開した。金額は4.1億ドル相当。このペースが続けば今月末に期日を迎える69.4億ドルのポジションは全てロールオーバーされ、期日到来に伴うドルの買い戻しは発生しない。今年1月以降、伯仲銀によるロールオーバーは月の中旬から再開されていたが、今月は早いタイミングでの入札再開となった。本日から始まる選挙裁判所での2014年大統領選を巡る審理を前に、相場急変時には介入をする準備があることを示したものと見られる。
- 朝方、先週開催されたCOPOMの議事録が公表された。改めて次回7月の会合で利下げ幅を縮小する意向が確認されたものの、特段新たな材料はなかった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。